

時代の変化に応じて新たなサービスを提供

同社は、燃糸業として創業後、国内繊維業の海外シフトが進む時代の変化に応じ、アパレル技術を活かした店装品製造へと経営革新に取り組んだ。オンデマンド印刷加工向けのデジタルインクジェット捺染機などの導入を進め、のぼりや横断幕など多量の販促用品などについて受注生産を行っている。近年は単品～小ロット生産の要望に応えるデジタルファブリック事業に注力しており、ウェブサイト上での発注作業だけで単品から中小ロットまでの数量を短納期納品するプリント・オン・デマンドサービスの提供も行っている。

所在地 愛知県一宮市高田字七ヶ田28
電話/FAX 0586-53-2525 / 0586-53-2526
URL <https://horieorimono.co.jp/>
代表者 代表取締役 武田 浩志

設立 1969年
資本金 1,000万円
従業員数 86人



デジタル製造に特化した少人数でフイックなものづくり

従来の大量生産向けのシルクスクリーン印刷では、工程が多く人手が必要である。現在の小ロット生産によるオンデマンドサービスでは、布へのデジタル染色機や、Tシャツ専用のデジタル印刷機によるデジタル製造に特化している。また、印刷の前後工程のシステム連携により、受注から出荷までをデジタルセル生産方式により少人数で多品種、少量生産、短納期を実現した。



Tシャツのデジタル印刷機

受注のAPI連携から生産、出荷までをクラウドで管理

同社では、従来、顧客からの注文は完全オーダーメイドの注文が多く、ファクシミリやメールで受注を受け、その後社内の受注処理、データ確認、製造指示などのバックオフィスの作業が多く発生していた。プリントオンデマンド事業では、顧客 EC やウェブサービスから WEBAPI を経由して連携するため、受注後は生産担当がバーコード発行後即製造にかかることができ、出荷業務、送り状番号連絡まで一貫した製造管理が可能となった。



クラウド管理されたオンデマンド工場

印刷のサービス化により顧客ビジネスのDXをサポート

API 連携によるプリントオンデマンド生産体制を作り上げたことにより、顧客ビジネスに布の印刷やアパレル製造を組み込むことができる。また、製造から顧客への直接配送まですべておまかせできる「フルフィルメントサービス」であるため、大手繊維商社やアパレルブランドなどが、お客様ごとにカスタムしたデザインアパレルや、在庫をつくらないで商品を販売するビジネスの新規事業の立ち上げの際には販売のみ行うだけでいいため、事業の DX 化をサポートできる。



フルフィルメントサービス